

編集後記

『名古屋ロー・レビュー』第4号編集委員会

今般、第4号を無事発刊する運びとなりました。本ロー・レビューに原稿投稿、執筆をいただきました皆様方、原稿の査読等の編集活動等に携わって下さった名古屋大学の先生方、卒業生の実務の皆様方、ロースクール在校生の皆様方をはじめ、多くの方々にご尽力を賜りました。この場をお借りして感謝の意を表するとともに、深く御礼申し上げます。

名古屋大学法科大学院の教育理念の1つには、豊かな人間性と感受性に裏打ちされ、幅広い教養と優れた法的専門能力を備えた法曹の育成が掲げられ、養育される法曹の特色の1つとして、情報機器やネットワークを利用して、収集した法情報を分析・要約・整理・統合・加工し、さまざまな資料や各種の文書を作成する技能を身につけた法曹の育成が挙げられています。名古屋大学法科大学院の在校生、卒業生を主たる構成員とする『名古屋ロー・レビュー』編集委員会は、上記教育理念、特色実現の一助となるべく、ネットでの法律問題に関する情報発信としての本ロー・レビューの編集・発刊に携わらせていただいております。

第4号に掲載させていただいた論文は、最近注目された行政事件を考察する論文、裁判官が実務上抱く問題点を裁判官自身が学問的側面から考察する論文等、内容面、投稿者の広がりにおいて、一歩前進した感を覚えます。

今後も、本ロー・レビューへの投稿にご参加していただきました皆様方、発刊にご尽力いただきました諸先輩方の「熱い思い」を継承しつつ、編集委員一同、今後もさらに本ロー・レビューが着実に有益な情報発信源として根付き、プレステージが向上するよう尽力する所存ですので、より多くの方々に閲覧していただき、より多くの方々から投稿していただけたら幸いです。